

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 8件(前月比 0. 2、前年比 0. 2)でした。2月をピークとして連続して減少しており、7月は1桁の報告となっています。

※()書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 3746件(前月比 1. 0、前年比 0. 8)であり、感染性胃腸炎1137件、ヘルパンギーナ766件、手足口病571件が大きく占めています。前月比及び前年比とも大きな変化はないようです。百日咳が例年より高い値で推移しているようです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症:

8件(前月比一、前年比 0. 3)と昨年度よりは低い値となっていますが、ここ数年8月から流行期に入っているため、今後の動向には注意が必要です。

2. 咽頭結膜熱:

72件(前月比 0. 8、前年比 0. 6)。5月からは連続して減少しています。7月は例年よりは低い値となっています。

3. A群溶連菌咽頭炎:

391件(前月比 0. 9、前年比 2. 0)。5月をピークとしてその後は連続して減少しています。例年よりは高い値で推移しているようです。菊池(18. 4)、宇城(11. 5)、人吉(10. 3)が高くなっています。

4. 感染性胃腸炎:

1137件(前月比 0. 8、前年比 1. 1)でした。5月からは連続して減少しており、例年並で推移しているようです。菊池(55. 0)、有明(54. 8)、山鹿(40. 0)が特に高くなっています。

5. 水痘:

297件(前月比 1. 3、前年比 1. 5)でした。5月までは例年より低い値で推移していましたが、7月は例年より高い値まで増加しています。山鹿(24. 5)が特に高いようです。

6. 手足口病:

571件(前月比 1. 8、前年比 0. 3)でした。昨年度は7月をピークに大流行を認めましたが、本年度は7月には大きなピークは見られていません。前月比は1. 8と増加していますので、今後の動向には注意が必要です。有明(29. 0)が特に高くなっています。

7. 伝染性紅斑:

2件(前月比 0. 4、前年比 1. 0)と少ない値で推移しています。

8. 突発性発疹症:

249件(前月比 1. 3、前年比 1. 3)。7月は例年より高い値となっています。

9. 百日咳:

5件(前月比 0. 7、前年比 5. 0)と例年より高い値で推移しており、今後の動向に注意が必要です。

10. ヘルパンギーナ:

766件(前月比 1. 1、前年比 0. 8)。3月から連続して増加しています。例年並みの推移のようです。7月の値は例年よりやや低いようです。菊池(59. 2)が特に高くなっています。

11. 流行性耳下腺炎: 32件(前月比 0.7, 前年比 1.8)で、大きな変動はなく推移しているようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告数1件(前月比—、前年同月—) 熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎 :報告数67件(前月比 0.9、前年同月 1.4)とほとんど増減はありませんでした。地域別では熊本62件、八代2件、有明2件、天草1件の報告です。年齢別では20~49歳に多発する傾向は変わりませんが、1~2歳児にも発症がみられ保育園での感染に注意が必要です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 48件(前月比 0.7、前年比 1.0)で、前月比は減少し、前年比は同数でした。男女別は、男性14件、女性34件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15~54歳に見られ、女性は15~44歳に見られます。地域別は、熊本が27件、次いで御船7件、八代6件、菊池4件、有明、宇城各2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 15件(前月比 1.0、前年比 0.9)で、前月比は同数で、前年比は減少しています。男女別は、男性6件、女性9件でした。年齢別は、男性は25~59歳に見られ、女性は20~70歳以上に幅広く見られます。地域別は、熊本が12件、次いで菊池、御船、人吉各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 4件(前月比 0.8、前年比 0.4)で、前月比、前年比共に減少しています。男女別は、全例女性でした。年齢別は15~29歳でした。地域別は、熊本が2件、次いで御船、八代各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数24件(前月比 0.9、前年比 1.4)で、前月比は減少し、前年は増加しています。男女別は、男性16件、女性8件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20~59歳に見られ、女性は15~44歳に見られます。地域別は、熊本が16件、次いで菊池、御船、宇城各2件、八代、有明各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 2件(前月比 0.7、前年比 2.0)の報告がありました。熊本1件、有明1件で、年齢は0歳:1件、70歳以上:1件でした。
2. 無菌性髄膜炎: 8件(前月比 2.7、前年比 1.6)の報告がありました。熊本8件で、年齢は5~9歳:1件、15~19歳:1件、25~29歳:1件、30~34歳:1件、35~39歳:2件、40~44歳:1件、60~64歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎:2件(前月比 0.3、前年比 0.3)の報告がありました。熊本1件、八代1件で、年齢は10~14歳:1件、15~19歳:1件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。(前月比 —、前年比 —)

5. 感染性胃腸炎: 報告ありませんでした。(前月比 —、前年比 —)
(ロタウイルス)

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:

30件(前月比 1.3、前年比 1.0)の報告がありました。

熊本16件、山鹿3件、阿蘇1件、八代4件、水俣3件、人吉2件、有明1件で、年齢は
0歳:5件、45~49歳:1件、55~59歳:1件、60~64歳:7件、65~69歳:2件、
70歳以上:14件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

7件(前月比 1.2、前年比 1.4)の報告がありました。

熊本4件、八代1件、人吉1件、有明1件で、年齢は1~4歳:1件、5~9歳:1件、
60~64歳:3件、65~69歳:1件、70歳以上:1件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。(前月比 —、前年比 —)

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告ありませんでした。(前月比 —、前年比 —)

届け出対象感染症

1類感染症: 報告はありませんでした。

2類感染症: 結核:34件

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:58件

腸チフス:1件

4類感染症: つつが虫病:1件

レジオネラ症:1件

E型肝炎:1件

5類感染症: アメーバ赤痢:2件

後天性免疫不全症候群:1件

侵襲性肺炎球菌感染症:3件

破傷風:1件